



新年のご挨拶



医療法人 済寿会
理事長 杉本 園



新年を迎え、皆様には幸多かれ事とお喜び申し上げます。一日におおよそ六万回考えられる思考（ちなみに六万回のうちの九十五%が前日と同じこと）の考えであると言われております。ではその中で、命について考えることは何回あるのでしょうか。おりしも、私たちがある青森県には「いのち」という銘菓もあり、また直接でも間接的にでも、「あしたばの里・黒石」の施設に関わることで、命に触れる機会は少なくはないでしょう。

もちろん、相手や出来事があつて、それについて考えさせられるというところもあるでしょうが、日常において生きることや、自分自身の命がどこからどのように運ばれ、どこに行くのかを考えたことはあるでしょうか。また生を受けた時、「私は生まれた」というのか、「生んでいただいた」なのか、または両親と自分と大いなる存在との共同作業によって、この地球に「ある一定期間」滞在することを許可されて今に至ると言うのか。生命というのは、極めて神秘的で、興味深いものです。私たちの身体にある「心臓」それが動いているのを感じたり、普段何気なくしている息に意識が向くことはありませんか？そして、自分の肉体が顕現される元となった、好き嫌いに関わらず、自分の両親、その先のご先祖様たちとの縁、繋がりを感じ、全てのお陰様で今の自分があること、今に至ること。そこに対しての奇跡を感じ、何かがあつたからではなく、普段からそこに立ち返り、感謝を感じられているだろうか。日々、私たちは様々なことを経験させてもらっています。何のためでしょうか？誰もが幸せと健康を心の底では望んでいます。与えられた生命を何にどのように使っていくのか、そしてどのように在りたいのか。それを新たな年に熟考し、あなたの内側に平和が見出され、そこ共に在り、幸せを感じられる日々となりますことを祈願して、新年の挨拶とさせていただきます。



介護老人保健施設
「あしたばの里・黒石」
施設長 小野 裕 三



新年あけましておめでとうございます。重症化リスクのある高齢者等を守ることに重点を置いて、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図る方針は変わりなく、社会経済活動の活性化に取り組む事となり、我々高齢者施設側はより一層の感染対策を強化する事となりました。昨年は新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザ及びマイコプラズマ肺炎感染症が早期に同時流行し感染予防対策を強化しました。特に、職員一人一人感染予防対策の意識づくりを徹底するために、施設内で感染防護具の実技の研修を取り入れ、例年、感染症が流行期間中は面会を中止して参りましたが、今年は通年での面会を実施して年末年始の帰省等に合わせた面会も制限する事無く、現在も継続して面会できる体制を整えています。

昨年の大幅な介護報酬改定により、「高齢者虐待防止」「身体的拘束等の適正化」「苦情対応マニュアルの強化」に取り組み、各委員会等で徹底的に勉強会・研修会に参加させて職員の意識づくりに取り組む努力を重ねて参ります。住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続ける事が出来るように体制構築の実現を目指し、更に超高齢社会では幾年前から話題となつている「団塊の世代を迎える二十五年問題」が懸念されている本年は、大きな転機の年でもあります。超高齢化による人口構造の変化により介護現場における担い手不足の介護現場に於いて、認知症の方も増えて地域での暮らしを支えていく必要があります。多職種での連携やデータの活用等も必要となり、介護サービスの質の向上を図るため、処遇改善や生産性向上による職場環境の改善に向け先進的な取り組みを推進し、必要なサービスが切れ目なく提供されるよう、地域の実情にに応じた柔軟かつ効率的な取組の推進を図り、入所者の「在宅復帰」を目指し自立自助・認知症の予防に努め、施設の充実と入所者の健康増進を図ると共に、皆様のご多幸を祈念申し上げます。

3年生まれ 利用者 職員の抱負

入所



中村 照男様
ご飯をしっかりと食べて健康に過ごしたい。

工藤 テツ様
皆さんと仲良く過ごしたい。

村上 勲様
ご飯を食べて体調が悪くならない様にする。

通所

工藤 弘美様
元気に働きたい。

木村 武男様
健康でいること。

嶋津 晃代様
元気で美味しくご飯が食べられるように。

中辻 和子様
元気でいたい。

職員



石塚 留美子様
責任を持ちつつ毎日楽しく過ごしたい。

金崎 智子様
仙台にいる娘の所に遊びに行きたい。

鎌田 友樹さん
『笑門来福』
どんな時でも笑顔忘れず過ごしたい。

工藤 順子さん
ゆとりのある一年にしたい。

千葉 麻子さん
身体を動かす機会を設けたい。

斗石 葉子さん
幸せ溢れるへびいな一年にしたい。

三上 慎也さん
怪我や病気の無い一年にしたい。

松橋 幸男氏
巳（み）のりの多い一年にしたい。

山口 絵理さん
体調管理をしっかりしていきたい。

クリスマス会

昨年末には、無事にクリスマス会を開催することが出来ました。入所者様も仮装をしてとても似合っていました。イルミネーションの点灯を見て目を輝かせている入所者様や、職員によるクリスマスソングで、一緒に盛り上がり上がっている姿を見て、私達も元気をもらいました。クリスマスプレゼントにも皆さん喜んでいました。



サンタさんからのプレゼント喜んでいただけました！



みんなで仮装して笑顔で盛り上げてくれました！

一般棟レクリエーション

コロナ感染症の流行により中止していた一般棟レクリエーションを十月より再開しています。「体操、おたまりレー、テーブルバレー」等皆さんで参加し体を動かしながら楽しんでいきます。久しぶりのレク活動に職員も手探りで行っていましたが、入所者様の楽しそうな笑顔や「また来るよ」と次回のレク活動へ参加しようとする声も聞かれ職員もやりがいを感じています。

編集後記

いつも明るく元気な利用者様に、毎日々活力を頂いています。今年も元気を与えられるよう頑張ります。(H・K)

